

FOLFIRINOX 療法

I-LV(レボホリナート)+L-OHP(オキサリプラチン)+CPT-11(イリノテカン)+5-FU

【適応】

治癒切除不能な膵臓がん

【投与スケジュール】

Day1

Day2

5-FU ポーラス
400mg/m² (15 分)



制吐剤	I-OHP 85mg/m ² (2 時間)	I-LV 200mg/m ² (2 時間)	5-FU 持続静注 2400mg/m ² (46 時間)
		CPT-11 180mg/m ² (1.5 時間)	

2 週を 1 コースとして繰り返す。

適正使用の目安(適正使用ガイドより抜粋)

項目		適正使用	慎重投与	投与禁忌
Performance Status		0～1		2 以上
年齢		65 歳未満	65 歳以上	
好中球	1 コース目	2000 以上		2000 未満
	2 コース以降	2000 以上	1500～2000 未満	1500 未満
血小板	1 コース目	10 万以上		10 万未満
	2 コース以降	10 万以上	7.5～10 万未満	7.5 未満
T-Bil/黄疸		施設基準上限 (ULN) 以下 かつ黄疸を認めない	ULN～ULN×1.5 以下 かつ黄疸を認めない	ULN×1.5 超 黄疸を認める
下痢(水様便)		認めない		認める
UGT1A1 遺伝子多型 ホモ (UGT 1 A1*6/*6、 UGT1A1*28/*28) 又はダ ブルヘテロ (UGT 1 A1*6/*28) 接合体		もたない	もつ	

減量基準 (参考)

副作用	程度	減量方法			
		CPT-11	L-OHP	5-FU(急速)	5-FU(持続)
好中球減少	1) 2 コース目以降の投与可能条件を満たさず延期 2) 500/mm ³ 未満が 7 日以上持続 3) 感染症又は下痢を併発し、かつ 1000/mm ³ 未満 4) 発熱性好中球減少症	・ CPT-11 を優先的に減量 ・ CPT-11 の投与レベルが L-OHP の投与レベルより低い場合は CPT-11 と同じレベルになるまで L-OHP を減量する ・ 投与レベルが Level-3 に達した場合、該当薬剤は投与を中止する。		中止	
下痢	発熱 (38℃以上) を伴う				
	Grade3 以上				減量
血小板減少	1) 2 コース目以降の投与可能条件を満たさず投与を延期 2) 5 万/mm ³ 未満の場合	・ L-OHP を優先的に減量 ・ L-OHP の投与レベルが CPT-11 の投与レベルより低い場合は L-OHP と同じレベルになるまで CPT-11 を減量する ・ 投与レベルが Level-3 に達した場合、該当薬剤は投与を中止する。		中止	
T-Bil 上昇	2. 0mg/dL 超	減量			
	3. 0mg/dL 以下	120mg/m ²			
	3. 0mg/dL 超	減量			
		90mg/m ²			
粘膜炎	Grade3 以上				減量
手足症候群					
末梢神経障害	投与当日の程度が Grade2		減量 65mg/m ²		
	投与当日の程度が Grade3		休薬 回復後 65mg/m ² に減量		
	Grade4		中止		

減量時の投与量

投与レベル	CPT-11	L-OHP	5-FU(急速)	5-FU(持続)
Level0(初回)	180mg/m ²	85mg/m ²	400mg/m ²	2400mg/m ²
Level-1	150mg/m ²	65mg/m ²	中止	1800mg/m ²
Level-2	120mg/m ²	50mg/m ²		1200mg/m ²
Level-3	中止	中止		中止

※複数の副作用発現時を除き、全ての薬剤を 1Level 減量しないように注意